

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式													
EU11A101		カリキュラムデザイン基礎(Basic Curriculum Design)					基礎理論科目														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
必修	2	1	教育学研究科	前期		氏名 河野晋也, 永田誠, 森竹啓介 E-mail kouno-shinya@oita-u.ac.jp, m-nagata@oita-u.ac.jp, moritake-keisuke@oita-u.ac.jp															
授業の概要	学習指導要領に基づき各教科等における特色あるカリキュラムを構築するための原理を理論的に学ぶとともに、学校現場の事例を題材とした演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討する能力を養う。 また、カリキュラムの点検・評価の方法と実際に関する最新の理論及び個に応じた指導と学習環境の最新の理論を習得し、演習を通じた双方向的な学習によって実践的な力量を構築する。																				
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1	カリキュラム編成の原理を理解するとともに、具体的事例をもとに課題を発見し対応策を立案・検討することができる。																				
目標2	カリキュラムの点検・評価の原理を理解し、具体的事例をもとに課題を発見し対応策を立案・検討することができる。																				
目標3	各教科等の特色あるカリキュラム作りの原理を理解し、具体的事例をもとに問題を発見し対応策を立案・検討することができる。																				
目標4																					
目標5																					
目標6																					
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
授業の内容																					
1	ガイダンス、カリキュラムデザインに関する用語と概念の整理																				
2	教育課程の意義と法的位置づけ																				
3	新しい学習指導要領(改定のポイント、総則)と教育課程																				
4	地域の特色を活かしたカリキュラムデザイン																				
5	カリキュラムの歴史とカリキュラムデザインの理論																				
6	幼児期の「育ち」と「学び」を活かした教育課程の工夫																				
7	カリキュラムデザインの事例検討1 総合的な学習の時間、ESD教育を事例として																				
8	カリキュラムデザインの事例検討2 幼小連携、小中一貫教育の実践を事例として																				
9	カリキュラムデザインの事例検討3-1 フィールドワーク事前学習																				
10	カリキュラムデザインの事例検討3-2 フィールドワーク(前半)																				
11	カリキュラムデザインの事例検討3-3 フィールドワーク(後半)																				
12	カリキュラムデザインの事例検討3-4 フィールドワークの報告と成果発表																				
13	カリキュラムデザインづくり1 グループによるカリキュラムデザインの開発(前半)																				
14	カリキュラムデザインづくり2 グループによるカリキュラムデザインの開発(後半)																				
15	カリキュラムデザインづくり3 カリキュラムデザイン試案の発表と授業のまとめ																				
ラーニング	A:知識の定着・確認	グループペアによる協働学習、省察やレポートのシェアリング等による学びのメタ認知化					工夫	その他の	フィールドワークに基づいた事例研究及びその省察												
時間外学習の内容と時間の目安	準備	グループ毎の、校種・学年を想定したカリキュラムデザイン作成の準備(15h)																			
	事後	最終レポートに向けて、毎時間の授業での学習内容の復習と所感を作成(15h)																			
教科書	教科書は指定しない。																				
参考書	・各学校種の「学習指導要領」(文部科学省, 2017・2018, 東洋館出版社他), 「学習指導要領解説 総則編」(文部科学省, 2017・2018, 東洋館出版社他) ・「幼稚園教育要領」(文部科学省, 2017, 東山書房) ・各学校種の「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(文部科学省, 2013・2021・2022, アイフィス他)																				
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10									
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%																			
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%																			
注意事項																					
備考																					
リンク	URL																				

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	河野：小学校教員，森竹：中学校教員・教育行政
実務経験を いかした教 育内容	生活・総合を核とした教科横断的カリキュラムマネジメントの指導